

12月8日、毎年恒例のピノキオクリスマス会読み聞かせサークルピノキオ主催が、



クリスマスの歌を全員で合唱

母と子の館で開かれ、約50人の児童らが参加し、一足早くクリスマスを楽しみました。

当日は、「まどからのおくりもの」の大型絵本の読み聞かせや「ちょうふく山のやまば - 神様からのおくりもの」の紙芝居に、「大工のへえやんじごくでどんどこ」のスライド上映など盛りだくさんの内容に、子どもたちも楽しんでいました。

最後にサンタに扮した英国青年から、お菓子をプレゼントされ、参加した子どもたちに笑顔があふれていました。

サンタからのプレゼントに笑顔あふれる ピノキオクリスマス会

楽しく親子で調理 親子食育料理教室

12月15日、親子食育料理教室が、健康福祉センターさわやかで開かれ、親子仲良く料理作りを楽しみました。

食を通して健康づくりを進めようと洞爺湖生活改善推進員協議会が行っているもので、約16人の親子が参加。栄養や食べることの大切さを学びました。

この日のメニューは、タコライス、かぼちゃスープ、白菜とりんごのコンピサラダ、カラフル電子レンジケーキの4品。

参加した親子らは、推進員さんの指導を受けながら、料理を完成させ、最後に全員で出来栄を話しながら、笑顔で試食しました。



推進員さんの指導を受けて料理作りに挑戦する親子

厳寒に響く火の用心の声 年の瀬の恒例防犯防火パトロール

年の瀬の恒例行事、入江4区自治会と同婦人防火クラブ合同の防犯防火パトロールが、地域住民や虹田中の先生らが参加して11月28日、12月13日、20日の3回行われました。

最後の日となった20日には、約15人が参加。

佐藤会長が「足元に気をつけてけがのないようしてください。来年も皆で元気にあいましょう」との挨拶のあと、氷点下の中を出発。

参加者は、拍子木をたたきながら、寒空に向かって大きな



寒空に「火の用心」の声を響かせる
入江4区自治会と婦人防火クラブの皆さん

声で「火の用心」を叫び、40分ほどかけて地域を回りました。

洞爺財田自然体験ハウスの自然ふれ合い行事「葉っぱハガキをつくろう」が、



思い思いの葉っぱハガキを作る参加者

12月22日同ハウスで開かれました。

参加した子どもらは、思い思いの葉っぱを使って完成させたハガキで手紙を書き、楽しい時間を過ごしました。

葉っぱハガキは、夏ごろに洞爺湖周辺で採取しておいた葉を、色画用紙に貼り付けるもので、年賀はがきをイメージして雪だるまをかたどったものや干支のヘビをあらわしたものなど様々なハガキが出来上がりました。

葉が乾くまで、外に出て、樹木の冬の様子や落ち葉の下の様子を、ルーペを使いながら観察しました。

葉っぱはがきづくりで冬の樹木を観察 財田自然体験ハウス自然ふれ合い行事

まちのわだい